

秋主要野菜の管理について

◎白ネギ

もうすぐ出荷です！軟白部分30cmを確保してください！！

◎ 止土作業 ⇒ 35cmの高さまで。最後は手で寄せることも必要(ボケ防止)です

◎ さび病・べと病・ボトリチス葉枯症の予防徹底！病気の発生前の予防から行いましょう

○9月中の防除

薬剤名	適用害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
グレーシア乳剤	シロイチモジヨトウ・アザミウマ類 ハモグリバエ類・ネギコガ・ クロバネキノコバエ類	2000～3000倍	収穫7日前まで	2回以内
シグナムWDG	べと病・さび病・黒斑病	1500倍	収穫7日前まで	3回以内
ロブラール水和剤	黒斑病・ボトリチス葉枯症	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内

○10月中の防除

薬剤名	適用害虫	希釈倍率	使用時期	使用回数
プレオフロアブル	ネギアザミウマ、シロイチモジヨトウ	1000倍	収穫3日前まで	4回以内
アミスター20フロアブル	べと病・黒斑病・さび病・葉枯病	2000倍	収穫3日前まで	4回以内
ロブラール水和剤	黒斑病・ボトリチス葉枯症	1000～1500倍	収穫14日前まで	4回以内

◎広島菜

◎ 定植後に乾燥が続く場合は活着するまでかん水が必要です(高温時には特に注意！)

◎ 生育初期、害虫を早期発見し防除を徹底する **防除の際は液肥を混ぜる!!**

薬剤名	適用病害虫	倍率	使用時期	使用回数
フェニックス顆粒水和剤	コナガ	2000～4000倍	収穫前日まで	2回以内
プレバソンフロアブル5	コナガ ※長い残効性が期待できる	2000倍	収穫前日まで	2回以内
アニキ乳剤	キスジミハムシ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類・コナガ	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
プロフレアSC	アオムシ・コナガ・キスジノミハムシ	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内

◎ 白斑病対策:発生の要因は肥料切れ(追肥が遅れないように注意)

⇒予防の徹底・定期的な液肥散布

！重要！白斑病が発生すると重い外葉を取って出荷となるので収量が大幅に減ります！

薬剤名	適用病害虫	倍率	使用時期	使用回数
ダコニール1000	白斑病(定植20日後散布)	1000倍	収穫28日前まで	2回以内
ロブラール水和剤	白斑病(1回目の2週間後散布)	1000倍	収穫14日前まで	2回以内

※展着剤(スカッシュ1000倍)、液肥を混用する。

！重要！追肥を行う場合はNK808(NK2)を4kg/a、定植20日頃とその20日後の2回行う。

◎おすっこ

- ◎ 圃場の準備の確認 ⇒ アブラナ科連作圃場(ネコブ病が心配な圃場)では
⇒ミネラルG散布の徹底(pHを高めることでネコブ病発生抑制)
⇒オラクル粉剤 20~30kg/10a 全面土壌混和



- ◎ 定植は根鉢1cm程度隠れる程度の深さで植える
(風による活着不良を防ぐため)

1cm程度の深さで植え

- ◎ ネキリムシ対策(定植後株元散布) !注意!ネキリエースKは使えません

薬剤名	適用病害虫	使用量	使用時期	使用回数
ガードベイトA	ネキリムシ(株元散布)	3kg/10a	生育初期	3回

- ◎ 生育初期10月中は害虫を早期発見し防除を徹底する

薬剤名	適用病害虫	倍率	使用時期	使用回数
プロフレアSC	アオムシ・コナガ・キスジノミハムシ	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内
アルバリン顆粒水溶剤	アブラムシ類	3000倍	収穫3日前まで	2回以内
	キスジノミハムシ	2000倍		

◎ブロッコリー

- ◎ まだまだ病害虫の被害が心配な時期です。定期的に防除の徹底を!

薬剤名	適用病害虫	倍率	使用時期	使用回数
プロフレアSC	アオムシ・コナガ・オオタバコガ・ウワバ類・シロイチモジヨトウ・ハスモンヨトウ・ハイマダラノメイガ・ヨトウムシ	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内

※ジュリボフロアブルもしくはプレバソフフロアブル(育苗時散布)の効果は約1ヶ月です。

薬剤名	適用病害虫	倍率	使用時期	使用回数
スターナ水和剤	軟腐病・黒腐細菌病・花蕾腐敗病	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
シグナムWDG	菌核病・黒すす病	1500倍	収穫7日前まで	2回以内
	べと病	1500~2000倍		